

司書が魅せる！ WEB 展示

埼玉県の手司書紹介



埼玉県は実は司書王国。県立図書館と県立高等学校図書館に勤める司書の人数は全国有数です。古くから専門職として「司書」の採用があり、「司書がいるのは当たり前」な環境が整えられています。しかし、図書館をよく利用される方でも、司書の人となりや司書がどのような仕事をしているのか、御存知でない方が多いのではないのでしょうか。

そこで、今回、司書について皆様にもっと知っていただき、図書館をもっと身近に感じていただきたく、県立図書館と県立高等学校図書館の若手司書 18 名の自己紹介という形式で展示ページを作成しました。展示ページでは、それぞれ一人ずつ、以下 4 つの内容を掲載しました。

「司書を志望した理由」

「現在の仕事の具体的な内容とやりがい」

「今までの仕事で印象に残っていること、大変だったこと、嬉しかったこと」

「私の図書館・担当 自慢の 1 枚! (写真)」

司書を志望した理由では、小さいころから本や図書館が好きだったという人が、やはり多かったです。しかし、図書館で働こうとは思っていなかった人や、民間企業に就職してから退職し、図書館に就職したという人も多くおり、様々な経験を持った人たちが司書となり図書館で働いています。また、司書は「狭き門」、「受験するなら埼玉県しかない」という言葉もありました。残念ながら司書の採用数は全国的に限られています。

そのような中、埼玉県は多くの司書を採用しているため、司書を志す全国津々浦々の方々が、試験を受けています。

仕事の内容では、まず、県立図書館と県立高等学校図書館では仕事内容が大きく異なります。おおまかに、県立図書館では、それぞれ担当に分かれており、その担当業務を集中的に行い、県立高等学校図書館では、司書が一人なので幅広い業務を行います。具体的な業務内容は、本の貸出・返却や、書架整理、レファレンスサービス（図書館の資料を使い、皆様の調べものをサポートすること）、選書（所蔵する資料を選定すること）、発注、受入、装備（バーコードを貼ったり、フィルムコーティング等を行うこと）などや、講座・研修会・展示等の企画・広報・運営、授業連携など、様々な内容があることをお分かりいただけたのではないのでしょうか。



松田 康佑

平成25年度	県立鴻巣図書館	企業資料担当【採用】
平成27年度	県立熊谷図書館	人文科学資料担当【現 人文・社会科学資料担当】
平成31年度	県立熊谷図書館	資料収集・整理担当【現所属】

司書を志望した理由

もともと行政に携わる仕事に興味があり、行政職に就きたいと思っていました。特に図書館は小さい頃から日常的に図書館に通っており一番身近な公共施設だったので、図書館に勤めたいとは思っていました。ただ職口がとても狭いことを知っていたので、最初はそれほど強く志望してはいませんでした。

大学で司書課程を受講したのは、司書を目標としてというよりは図書館についての知識を身に付けたいという気持ちからだったのですが、自分の知らなかった図書館の理念や業務を知るようになり、司書として働きたいと思うようになりました。

※展示ページ

展示を御覧になられた方からは「顔が見えるだけで断然に図書館が身近になる」などの感想をいただきました。

この展示を通じて「司書ってそうなんだ」「司書に相談してみようかな」「司書になりたい」と思ってくださった方がいましたら嬉しい限りです。
(記録：埼玉県立熊谷図書館 相馬 一行)